

平成29年度 青森大学教員免許状更新講習 シラバス

講習の名称	経口投与剤の調製と生体運命のモデル解析 -クスリの吸収から排泄を簡単な実験から理解する-				
必修・選択区分	選択領域	講習時間数	6時間	受講予定人数	12人
対象職種	教諭	開設日	平成29年7月31日(月)		
主な受講対象者	中学校又は高等学校の理科の担当教諭				
担当教員	三浦裕也(薬学部教授)、宮城孝満(薬学部准教授)、井沼道子(薬学部助教)				
講習内容	<p>医薬品は配合される添加剤の比率などの違いにより、投与後体内へ移行するまでの時間が異なり、ひいては薬効発現の時間や程度に影響を及ぼす事がある。</p> <p>本講習では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 経口剤の製剤化 2) 消化管からの吸収のメカニズム 3) 吸収に及ぼす影響 <p>について説明し、有効成分の吸収に関わる要因について、いくつかのモデル実験を実施して理解を深める。</p>				
到達目標	<p>医薬品に含まれる添加剤のはたらきについて学び、医薬品に施されている製剤学的工夫について理解する。さらに、薬物が生体に投与された後にたどる生体内運命(薬物動態)について学び、薬物の有効性及び安全性について理解する。</p>				
講習方法等	<p>【講義・演習】</p> <p>午前の部(物理薬剤学) 乳糖およびその他の添加剤で構成された処方錠剤を作製する。得られた錠剤の物性を硬度計および崩壊試験機により評価する。</p> <p>午後の部(生物薬剤学) 医薬品投与後の吸収から体外への排泄に関する講義を行い、簡易1-コンパートメントモデル実験を行う。</p> <p>実習の安全確保のため、事前に安全講習を行い、実験を行う際には必ず白衣を着用させる。適宜ゴーグル・マスク・グローブを着用する。</p>				
時間割	<p>(時間)</p> <p>9:00 ~ 9:20 受付</p> <p>9:20 ~ 9:30 オリエンテーション</p> <p>9:30 ~ 12:30 講習(午前)</p> <p>12:30 ~ 13:30 昼食・休憩</p> <p>13:30 ~ 16:00 講習(午後)</p> <p>16:00 ~ 16:30 試験</p> <p>16:30 ~ 16:45 評価書記入</p> <p>※適宜休憩を設けます。</p>				
修了認定の方法	筆記試験				
成績評価の方法・基準等	成績評価は、筆記試験の成績で判断する。評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。				
教材等	当日、資料を配布。				
認定番号	平29-30026-504111号				
その他					